



白山市立蝶屋小学校 校長室だより

# 蝶屋小ものがたり NO.4

令和3年5月26日



## <気持ちのよいあいさつ>

5月11日から3日間の「あいさつマスター」の取組で、児童のあいさつがさらによくなりました。明るい表情や声で、相手を見て、たくさんの人にあいさつをする様子が見られました。毎朝、体温チェックをしてくださるサポートの方に「子どもたちのあいさつで、元気がわいてきますね！」という言葉をいただきました。多くの職員も同様の感想を持ちました。

気持ちのよいあいさつが子どもたち一人一人の習慣となっていくよう、指導を継続していきます。ご家庭におかれましても、ご協力よろしく願いいたします。



【あいさつマスター賞】

## <地域の方々 ありがとうございます！>

蝶屋小学校は地域の方々にたくさんのご協力をいただいています。2年生は、山本農園さんに「ミニトマトの苗植え」を教わりました。やさしく苗を植え、水やりをして大切に育てています。4年生は、美川自然人クラブの藤木さんに、石川県の天然記念物に指定されている「トミヨ（はりんこ）」についてお話を聞くことができました。6月には実際に安産川親水公園にて、生き物の生態を調べます。5年生は、昨年まで学校評議員もしてくださっていた西田さんに、お米作りについて年間を通して教わります。種もみまきから始めています。地域の方々のおかげで、学びがより深いものになっています。



## 草刈り作業

5月23日(日) 早朝



育成会の役員さんを中心に、有志の方々がグラウンド周辺と生け垣の草刈り作業をしてくださいました。コロナ禍のため、環境整備作業が中止となったこと受けての実施です。大変きれいになりました。ありがとうございました。



## <授業でも『ONE TEAM』>

「相手意識のある発信力」。これは蝶屋小学校で大切にしている資質・能力です。相手意識を持って伝え合う『ONE TEAM』が、みんなの「わかった」「できた」につながっています。



【グループでの話し合い】



【ペアでの伝え合い】



【1年生に教える6年生】

## <代表委員会 主体的に 気づき・考え・行動！>

代表委員会は、4～6年生の学級代表と各委員会の委員長が集まって、学校をよりよくするために話し合う会議です。第1回目は、5月19日に行われました。

まず、代表委員会とはどんな会議なのかを、企画運営委員会の6年生が説明。その後、各委員会から今月の取り組みや各クラスにお願いしたいことの提案があり、話し合い、決議という流れでした。

困っていることや、何かやってみたいことがあれば出し合い、みんなで蝶屋小学校をよりよくしていこうという自発的・自治的活動を行います。6年生を中心に活動している様子は、とても頼もしかったです。これからはますます楽しみになってきました。すごーいぞ！蝶屋っ子！



【司会進行は企画運営委員会】



【質問に答える委員長】



【しっかり聞く学級代表の4・5年生】

## <校長先生は、どんなお仕事をしていますか？>



かわいい1年生が、生活科『がっこうだいすき』の学習で校長室をたずねてきてくれました。3～4人のグループで、学校で働く人にインタビューする活動です。

部屋に入るときから礼儀正しく、自己紹介もしっかりとしてくれました。インタビューでは「どんなお仕事をしていますか？」等、核心を突く、よい質問ばかりで緊張しました。

お仕事はいろいろあるけれど、いちばん大事なのは「どうすればみんなが元気に楽しく学校で過ごせるかを考えること」です、と答えました。1年生のインタビューを受け、身の引き締まる思いでした。



「失礼しました。」と礼儀正しく退室していく1年生の様子を見て、あたたかい気持ちになると同時に、頑張ろうという気持ちが高まりました。